

'16.3

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南 岩男
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号
TEL 078(371)1261㈹ 650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 足立 誠
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第703号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成27年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲様々な素材への印刷に挑戦する富士プレート株式会社の技術は、顧客のニーズに応え続ける。

Contents

■県連会Letter 2~3頁

- ・県青連 経営革新研修会
- ・県女性連 第3回商工会女性部幹部講習会
- ・県商工青年同友会 新春賀詞交歓会
- ・経営革新フォローアップ研修会

■あなたのまちの元気な企業(播磨町) 4頁

■商工会Letter 5~6頁

- ・経営発達支援計画への取り組み … (加東市)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」 …… (三田市)
- ・兵庫県立大学経営学部産学連携事業(神河町)
- ・しんぐう楽市楽座 ……………… (たつの市)
- ・兵庫大と連携協定 ……………… (稻美町)

特殊ラベル・シール印刷、レーザー印字などを主力商品とする富士プレート株式会社は、昭和48年4月、現社長の四村重夫氏が創業した。飲食店経営からの大きな転換は夫婦2人の家内工業から始まった。昼間は営業にまわり、受注した仕事を夜にこなす日々が続く。

同業他社との競争の中、取引先のニーズに応える姿勢と真面目な仕事ぶりが評価され、大手精密機械メーカーのパネル版製造が安定した柱になる。徐々に会社の業績は伸び、平成元年に法人化。同年、現専務である息子の公一氏が入社する。のちに失われた20年と揶揄されるほど、時代は厳しく変化していく。そんな状況で挑戦を続け、平成27年に「経営革新計画承認」、同年「ものづくり補助金」の採択を受け、次のステージを目指す四村公一専務に話をうかがつた。(詳細は4頁)

富士プレート株式会社

(播磨町)

レーザー印字技術で挑戦を続ける



▲事業承継についてわかりやすく解説

会青年部連絡協議会が主管。講演会とパネルディスカッションを行い、経営に対する知識を深めた。

当日は、「失敗しないための小規模事業者の事業承継の5つのポイント」をテーマに経営計画の重要性や後継者の心構えについて、県連合会のチーフアドバイザーである税理士津田弘一氏を講師に招き研修を行った。

パネルディスカッションでは、「幾多の失敗を乗り越えた承継者・被承継者から学ぶ」をテーマに5人の事業承継経験者によるパネルディスカッションを行い、自分たちが経験し乗り越えてきた経験談等の意見を語り合つた。

兵庫県商工連合会(久保田一三会長)は、1月20日、丹波市・ポップアップホールにおいて経営革新研修会を開催し、県内各地域の青年部幹部104人が参加した。

今年度は丹波・篠山地区商工会青年部連絡協議会が主管。講演会とパネルディスカッションを行い、経営に対する知識を深めた。

津田氏は事業承継の指導経験も豊富であり、経験をもとにした研修で事業承継の重要性、今後の国等の支援環境などについての説明があり非常に分かりやすい研修であった。



▲自分たちの体験談を語り合う事業承継経験者

正副会長・常任理事会、理事会および部長会

第3回商工会女性部幹部講習会を開催

県女性連

部長全員を県女連役員とする方針で検討することとした。

また、平成30年度商工会女性部全国大会については、兵庫県で受入れができるよう、県女性連としても前向きに取り組んでいく意思が固まった。

第49回通常総会の開催は、平成28年4月26日(火)に決定した。

また、第3回幹部講習会には、約80人が参加。講師には、三田市にある株式会社パティシエ工スコヤマ代表取締役の小山進氏



▲理事会で挨拶を述べる坂本会長



▲丁寧を武器にすることの大切さを説明する小山氏

県商工会女性部連合会(坂本ひとみ会長)は、1月18日、神戸市・神戸ポートピアホテルにおいて正副会長・常任理事会、理事会および部長会、第3回幹部講習会を開催した。

理事会および部長会では、兵庫県商工会女性部会規程の見直しと、平成30年度商工会女性部全国大会を中心に協議し、第49回通常総会の日程についても決定した。

女性部会規程の見直しについては、理事の枠を増員し、女性

経営革新研修会を開催

「小規模事業者の事業承継を学ぶ」

正副会長・常任理事会、理事会および部長会

第3回商工会女性部幹部講習会を開催

をお招きし、「丁寧を武器にする」と伝えることの大切さ」をテーマに講演いただいた。

質疑応答の中では、女性部員それぞれが抱える悩みを聞き、丁寧に回答をいただいたことで、本研修が有意義なものとなつた。この研修を活かし、女性部の今後の活躍に期待したい。

3月のこよみ

- 1日(火) 県青連正副常任理事会・理事会・部長会
- 10日(木) 人事調整委員会
人事管理委員会
- 16日(水) 正副会長・常任理事会
- 17日(木) 労働環境対策事業審査会
- 18日(金) 第6回事業委員会
- 28日(月) 県連理事会・臨時総会他
商工会法施行55周年記念事業

4月のこよみ

- 12日(火) 県青連正副常任理事会・理事会・部長会・監事会
- 15日(金) 第1回県女連正副会長常任理事会・監事會・理事会
- 22日(金) 県商工青年同友会 通常総会
- 26日(火) 県女性連 通常総会
- 28日(木) 県青連 通常総会



▲厳しいプロ野球界で培った自身の体験を面白おかしく講演

また現在、独立リーグも運営しており、地域振興や、若い選手の為に活躍されているなど、1時間では物足りない講演会であつた。終了後、賀詞交歓会も開催され有意義な会であつた。

兵庫県商工連会報
県商工青年同友会（今北義明会長）は、1月23日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において、第3回研修会を開催し、同友会会員、県青連役員等25名が参加した。

当日は、村上隆行氏（元近鉄バファローズ野球選手）を講師に「プレッシャーに打ち克つセルフマネージメントとコーチング」と題して講演会を開催。

争いの厳しいプロ野球界でスランプと闘いながらも選手生活を続けたこと、また、数々のプレッシャーに打ち克つために自分が学んだことを、選手時代の裏話などを交えて面白おかしく聞かせていただいた。



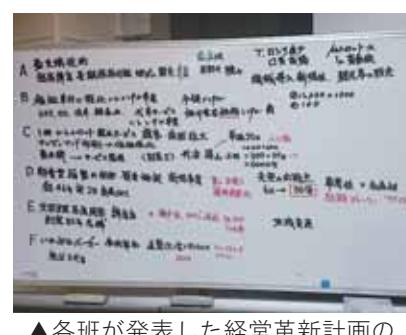
▲講師の村上氏を囲んで大いに盛り上がった賀詞交歓会



▲経営革新計画書を作成するため企業の経営環境分析する受講生達

研修前半の講義では、事業者表取締役で中小企業診断士の黒野秀樹氏が務めた。

研修参加者からは、「他の考え方の情報共有をする場になつた」や「経営計画を作成する過程で必要な要素を学ぶ事ができた」等の感想が述べられた。



▲各班が発表した経営革新計画のテーマ一覧

県連合会は、1月21日に兵庫県中央労働センターで、経営革新フォローアップ研修会を開催された。

これまで商工会職員の支援によって多くの経営革新計画が承認されてきたが、それらの中に実際に計画通りに実行されないものが多く見受けられる。

本研修会では、経営革新の承認が目的ではなく経営支援をする上での手段として、より実現性の高い計画策定の手法を学んだ。

前半の講義を踏まえ、後半は、実際に経営革新計画書を作成するグループワークを行った。講師から事前課題として提示されたモデル企業を各班が選定し、その企業の経営分析、新規性、独自性のある革新的な技術・サービスの提案、実現可能な売上目標を立てて各班の発表が行われた。

元近鉄バファローズ野球選手が講演

（同友会）第3回研修会及び新春賀詞交歓会

実現性の高い経営革新計画に向けて

（職員研修）経営革新フォローアップ研修会

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫

日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫
（アイウエオ順）

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

一中小企業と共に55年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

☎ 078-361-8080 Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp



▲誠実な経営が伝わってくる四村公一専務

経営理念 「信頼される高品質の製品を製造し、顧客のニーズ

富士プレート株式会社（播磨町）

お客様・仕入先様から、選ばれる企業へ

・あなたのまちの元気な企業・

外注から 社内製造への転換

に応える」が掲げられたのもの頃で、全社一丸となって取り組む風土ができた。

四村公一氏が入社した当時、家族と2人の従業員だけで、主な製造は外注に出していた。ところが、外注先の人手が足りず納期に間に合わない、不具合が出るということが続く。社長は自社製造に切り替えることを決断。平成11年、1,300万円の設備投資をして内製化を行つた。責任は重くなつたが、不具合にすぐに対応できるメリットもあつた。結果的に業績が伸び、工場を拡大するため、翌年新社屋を建設。主力商品の特殊シール・ラベル印刷という柱がしっかりと育つていった。

経営の柱を増やしたい

特殊シール・ラベル印刷という安定商品はあるが、柱が一本だけでは心もとないと新規顧客を模索していた公一氏。

商工会から声をかけられて軽い気持ちで参加したセミナーで経営革新のことを知る。

「お客様のニーズを受け入れる」「新しいことをアピールする」という、自身が取り組もうとしている方向は間違つていないとわかり、一步を踏み出す気力があわいてきた。

現在は社員7名。熟練工が責任をもつてものづくりに励んでいる。大型の機械を使って特殊なシールを印刷していく工程では、スケールを手に目視で0・15mmのズレも許さない。スケールで測り、試し刷りをし、また測る、これを繰り返し、数値の設定に1日、2日かかることも

ある難しい作業は、職人の勘と経験だけに依存する怖さもある。

コンピューター制御の機械を入れて省力化したいという願いは、中小企業にとって手が届かない投資金額にかかり消された。

そんな中で時代はまた変化する。レーザーブレイキ搭載が軽自動車に普及し、数年後には全車種に搭載する動きがあることから、新たな受注が増える可能性が出てきたのだ。この受注拡大のチャンスを逃してはならないと、事業計画を綿密に立て、2015年2月、経営革新計画承認を受けた。

経営革新計画承認に向けて



▲零点数ミリのズレさえも許されない

追い風に乗つて さらに挑戦する

公一氏は、経営革新計画承認をベースに、ものづくり補助金の申請へと次の一步を踏み出す。商工会の支援を受けて事業計画を具体的にブラッシュアップ。経

年、20年先に健全な企業活動を行うためにも、今回導入する機械を軸に、売上げの柱を増やし挑戦を続ける。社長以下、強い決意をもって進む姿勢が頼もしい。



▲妥協なき精密さを求めて作業は続く

【企業概要】

社名／富士プレート株式会社
代表者／代表取締役 四村 重夫
創業／昭和48年
住所／〒675-0163
兵庫県加古郡播磨町古宮863-1
☎078-942-1433
Fax078-943-0223
URL : <http://www.ab.auone-net.jp/~fujip/>

加東市
商工会

経営発達支援計画への取り組み

～計画書の策定を振り返つて～

平成27年11月17日、加東市商工会は経営発達支援計画の認定を受けました。情報がないなかで、それでも初回申請をしようと考えたのは、認定商工会のみが利用できる国の施策を加東市内の小規模事業者がいち早く利用できるようにという思いからでした。

平成26年12月から、事務局長を含めた職員全員で、項目ごとに担当を決めて作業を進め、それらをつなぎ合わせた計画書に修正を加えました。事業評価の方などは上山県連合会主任チーフアドバイザーに助言をいただきました。

作成した計画書を近畿経済産業局に持参したところ、小規模支援法において商工会が求められている役割をよく理解して、経営発達支援計画に必要な事柄のみ記載するようアドバイスをいただきました。

初期の計画書に記載していたガイドラインに示されていない余計な記述をすべて削除して、シンプルに「会員事業所の事業計画策定を支援するには何が必要

要か」を念頭に大幅な修正を加えました。
個社支援においては、『地域の経済動向調査』により市場動向を把握して、『経営状況の分析』をすることで導き出した独自の強みや経営資源を活かした『計画策定支援』と、『需要動向調査』で得たトレンドを参考にしながら『実施支援』を伴走型で行うとともに、具体的な『需要開拓』の事業を実施して小規模事業者の販路開拓を支援するという流れです。

具体的な取り組みについては、巡回訪問とセミナー等の開催、事業計画の策定および実施支援など、これまで取り組んできた経営支援業務を基軸に、新たな取組みとして販路開拓支援の事業を組み入れました。

反省点としては、自ら頑張る企業を応援するという中小企業基本法の精神からすれば、対象企業を絞った数値目標で良かつたのかもしれません。また、認定商工会だけが活用できる「伴走型小規模事業者支援推進事業補助金」の申請を想定した記述

にしておくべきでした。

平成28年度は、経営発達支援計画の内容を職員全員でしっかりと理解し共有して事業を推進します。前出の補助金を活用して

すでに実施した需要動向調査の分析結果をもとに、地域資源を活用した販路開拓や広報PR、観光振興等の事業に積極的に取り組んでまいります。

ひょうご支援の扇

▼女性視点からの支援
女性事業者の良き理解者として



三田市商工会
佐藤めぐみ

ここ数年、三田市商工会でも創業の相談が増加しており、特に女性の起業家が増えてきたと実感しています。起業する女性の動機として、自分が仕事や育児、介護などで苦労した経験から、同じ立場

の女性の支援をしたい、という背景が顕在化しています。

経営革新計画では、子育て世代向け地域情報サイトの立ち上げを支援しました。孤児ながら、育児の悩みを相談できる場、子供連れで楽しめるイベントやお店を探している若いお母さん向けのサイト制作でした。また、小規模事業者持続化補助金では、子育てが一段落し、再就職を目指す女性起業家は増えていることや、あつたらいいな、と思うアイデアを出し合って、支援の際の参考にしています。

今後も女性起業家は増える

と予想され、我々女性目線での支援は必要不可欠になります。そのためには、日々の研鑽に努めるとともに、消費者としての視点と指導員としての視点を兼ね備えた女性職員の一人として、事業者の商品開発や販路開拓などの支援に積極的に取り組んでいきたい

緑の募金にご協力をお願いします

緑の募金は地域の緑化活動への助成やボランティア団体への助成を行っています。ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

●郵便振込（手数料無料）

郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に

直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。

●銀行振込（振込手数料必要）

口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〈春季募金運動期間〉

3月1日～5月31日

◆お問い合わせは◆
(公社) 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071
URL: http://www.hyogo-green.net/



神河町商工会・兵庫県立大学経営学部産学連携事業
インターンシップ事業 最終報告会について



▲事業提案をする県立大学の学生たち

神河町商工会（秋山紀史会長）は、受入事業所7社と兵庫県立大学経営学部事業創造学科（学生35人）との产学連携支援事業（インターナンシップ事業）の最終報告会を1月23日、兵庫県立大学神戸商科キャンパスで実施した。

今回の最終報告会は、昨年9月7日から11日にかけて実施されたインターンシップ事業の中間報告で事業所から出た意見・提案等を大学側が持ち帰り、再度内容を検討し、プレゼンを事業所向けに実施した。

報告内容は、事業所の現状を分析し、それに基づいて事業提案された。中間報告の提案をよく詳しく検討し報告するグループもあれば、中間報告にはなかつた新たな提案をしたグループもあつた。

事業所の感想・意見は概ね好

評で、学生との交流によりモチベーションが上がったと喜びの声が聞かれた。

事業所の中には、

インターンシップ事業終了後、学生からの意見をもとに事務所を改修した事業所があつた。他方で、

ある程度道筋が立てられた提案ではなく、もっと学生ならではの多彩な発想や意見がほしかったといった声も聞かれ、最終報告書作成にあたつての課題も明確となつた。

このインターンシップ事業ではわざか5日程度であったが、しっかりと親交を深めることができた。今回、大学での最終報告会においては、昼食時や報告会の合間などに学生が事業所に挨拶に訪れるなど、和気藹々とした雰囲気が垣間見えた。受入当初は不安もあつたが、実習状況や報告会を通じて得たことを来年度に向けて取り入れ他の事業所にも波及していきたい。



▲ご当地グルメが集う会場（昨年度）

たつの市商工会青年部（作本卓也部長）は3月13日、たつの市観光協会新宮支部と共同主催で、「新宮へ人を呼び込む」をテーマとして「第10回しんぐう楽市楽座」を開催する。

また、今年度はたつの市制10周年記念に花を添えるため、80団体を超える過去最多の店舗を構え、毎年恒例となつた「ご当地キャラ大集合!!」も、たつの市の「ご当地キャラクター「赤とんぼくん」を筆頭に、各地域で活躍中のキャラクター達を県内外から過去最多数の招待をしている。

たつの市商工会 第10回しんぐう楽市楽座 過去最大規模で開催!!

たつの市商工会青年部（作本卓也部長）は3月13日、たつの市観光協会新宮支部と共同主催で、「新宮へ人を呼び込む」をテーマとして「第10回しんぐう楽市楽座」を開催する。

また、今年度はたつの市制10周年記念に花を添えるため、80団体を超える過去最多の店舗を構え、毎年恒例となつた「ご当地キャラ大集合!!」も、たつの市の「ご当地キャラクター「赤とんぼくん」を筆頭に、各地域で活躍中のキャラクター達を県内外から過去最多数の招待をしている。

この協定は、稻美町商工会および兵庫大学・兵庫短期大学部が包括的な連携のもとに、まちづくり等の各分野で協力し地域の発展と人材育成に寄与することを目的として締結された。

今後、商工会が実施する町内

の経済動向調査や需要動向調査に関する集計や専門的な分析を同大学に依頼し、学生側も企業現場の研究が可能になる。

また、同大学が実施するイン

ターンシップに参加する学生の受けた企業は商工会から紹介を受けた企業が行うなど、お互いの発展に繋がる締結式となつた。

また、同大学が実施するイン

ターンシップに参加する学生の受けた企業は商工会から紹介を受けた企業が行うなど、お互いの発展に繋がる締結式となつた。

この協定は、稻美町商工会および兵庫大学・兵庫短期大学部が包括的な連携のもとに、まちづくり等の各分野で協力し地域の発展と人材育成に寄与することを目的として締結された。

今後、商工会が実施する町内

兵庫大と連携協定 新たな発展のために



▲締結式当日の様子

この協定は、稻美町商工会および兵庫大学・兵庫短期大学部が包括的な連携のもとに、まちづくり等の各分野で協力し地域の発展と人材育成に寄与することを目的として締結された。

今後、商工会が実施する町内

の経済動向調査や需要動向調査に関する集計や専門的な分析を同大学に依頼し、学生側も企業現場の研究が可能になる。

また、同大学が実施するイン

ターンシップに参加する学生の受けた企業は商工会から紹介を受けた企業が行うなど、お互いの発展に繋がる締結式となつた。

また、同大学が実施するイン

ターンシップに参加する学生の受けた企業は商工会から紹介を受けた企業が行うなど、お互いの発展に繋がる締結式となつた。

この協定は、稻美町商工会および兵庫大学・兵庫短期大学部が包括的な連携のもとに、まちづくり等の各分野で協力し地域の発展と人材育成に寄与することを目的として締結された。

今後、商工会が実施する町内

兵庫大と連携協定 新たな発展のために